

SSKO

つばさ

編集発行 厚木市手をつなぐ育成会
会長 風間 陽子
事務局 厚木市愛甲1-25-1
山口 和子 宅
TEL&FAX 046-247-5055

令和2年度厚木市手をつなぐ育成会定期総会のご報告

(今回は書面による決議。令和2年4月28日(火)10時30分～)

アミューあつぎ6階ルーム601&602にて開催予定でした)

◇◇議題内容◇◇

- 議題第1号 令和元年度事業報告
- 議案第2号 令和元年度収入支出決算
及び 監査報告
- 議案第3号 令和2年度事業計画(案)
- 議案第4号 令和2年度収入支出予算(案)



賛成多数により、全て承認されました。ご協力ありがとうございました。

会長より～

先般、総会につきましてご案内させていただきましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、急遽「書面表決」にさせていただきました。

総会のご挨拶の中でお話するつもりでした以下の内容をここでお伝えします。

令和2年1月19日にぼうさいの丘公園にて成人を祝う会がおこなわれ、男性3名の新成人をお祝いすることができました。社会人になり約2年、社会の荒波に揉まれ少し大人になって初めてのスーツ姿の3人はお祝いの花束を抱えシャンと胸を張り入場、後に続くご両親の本当に嬉しそうな顔を拝見できました。

この時のご挨拶で、「皆さんの一番の親孝行はこれからの人生を笑顔で生きてくれることです、その笑顔のお手伝いをさせてもらいます」と約束したにも関わらず未だに1つも約束を実行できていません。コロナウイルスが終息したら、もちろん今までどおりにはいかなくても新しい生活様式に添いながら工夫をし、楽しい行事が出来る様に今からしっかりと計画を立てて行こうと考えています。どうか、コロナ対策をしっかりして元気に過ごして待っていて下さい。

風間 陽子

自粛期間中、どう過ごしましたか？

新型コロナウイルスでこれまでの日常が一変してしまい、今現在も落ち着かない状況が続いています。ここでは特に緊急事態宣言下で、各家庭ではどのように過ごしていたか、役員を中心に聞いてみました。

休みの日はひたすら母とウオーキング (40代男性)

本人がプールを希望するので、毎月移動支援を利用してヘルパーとお出かけしていました。移動支援は主に土曜日で日曜日は母とプールに入ったり育成会の行事に参加していました。が、コロナ緊急事態宣言が発令されてから移動支援を全てキャンセルし、毎週日曜日は母とお出かけ、2月以降外食もせず、お弁当を車中で食べ2時間くらい人混みを避けウオーキングをしています。本人もコロナの事は分かっているのでヘルパーとお出かけしたい、プールに入りたい、外食をしたい、とは言わないので、毎週日曜日、母と2人でひたすらウオーキングしています。(N・K)

なんとTVが見られるようになった！ (20代男性)

TVが苦手な10年以上も前からほとんど見る事が出来なかったTVですが、コロナ禍の中、いつ終息するのか不安でニュースをチェックするようになりました。相変わらず、生でTVを見ることは辛いようですが、録画をして見えています。

毎晩「コロナ」のキーワードでニュースをチェックし(主にNHK)録画予約。翌日事業所から帰ると録画したニュースを1つずつ見ていきます。我が家の夕方は「おはようございます」と朝のニュースで始まりますが、それでも彼が家に居て、居間のTVがついているという事は「すごい！」事です。(A・N)



成長が続いている事に感動 (40代男性)

息子は在宅でB型事業所へ通所しています。毎日テレビでコロナウィルスのことを見聞きして、重症になられた方や亡くなられた方が沢山いることを知って、コロナウィルスが怖いもので自分も気をつけなれないといけないと息子なりに理解したようで自粛生活はすんなりと受け入れてくれました。

バスでの通所は自家用車で送迎に切り替えて、週5日の通所は週3日になり、残りの2日は在宅で仕事をする事になりました。仕事は紙袋に持ち手の紐を通すものです。

主人と私も手伝うことにして、息子に手順を聞くとサッとテーブルの上に紙袋の向き、紐を置く位置、出来上りを確認して積み上げる位置を決め、モタつく親を尻目に紐を通し残す長さを決め結ぶ、お世辞にも器用とは言えない息子が、正確かつ早い！！

職員の方から最初は紐が結べなくて残す長さもばらばらでプラスチックの持ち手をぱちぱちと止める袋しかできなかったと聞いていたので、成長！成長！40才越えても未だに成長続けてるんだ、そんな姿を見ることができました。“継続は力なり”です。

親子3人で一仕事終えてのほのぼのとしたお茶の時間、外食好きの息子がテイクアウトばかりになっても“自粛です”と受け入れてくれた事も、マスクも手洗いもうがいも家族で一番キチンと守ってくれてる事も大人になったな、と感じることができました。

我が家にとってはコロナ太りを除けば自粛生活も悪いことばかりでは無かった様です。でもこれ以上第2波は来ないで欲しいと祈るばかりです。(K・Y)

自宅で一緒に作業して競争 (20代男性)

普段はインドア派で、家の中で過ごすのが好きな息子ですが、今回の自粛期間はさすがにこたえた様子でした。外出できない理由を話すと、その時は理解してくれますが、時間が経つと「いつまで自粛なの？」と外出したくてしょうがない様子でした。

近所の市立公園も閉まっていたので外で遊ぶのもままならず、近くの川沿いの散歩等で我慢させるしかなかったです。

幸いだったのは通所している作業所が通所か自宅での作業を選べたので週3日通所、週2日自宅での作業を選びました。自宅で一緒に作業をしましたが、なかなか難しく根気がある作業でした。時間を区切って家族で競争して遊び感覚で作業しました。これは楽しい思い出となりました。(Y・A)



余暇の楽しみがなくなり… (20代女性)

非常事態宣言期間も娘は仕事に行っていました。農産物直売所のバックヤードで野菜の袋詰めや品出しをして働いています。お店の閉店時間が早くなり勤務時間が仕事量に合わせて変更があり、当初バスの時刻などに対応できず、途中から定時勤務にもどして頂きました。あと、今までしていなかったマスクの着用も慣れるまでは鬱陶しかったようです。

日常生活では楽しみにしていた育成会のスポーツ教室、プール、スペシャルオリンピックスのバスケットボールが中止になり日に日にストレスが溜まっていくのが感じられました。公園も閉鎖になり、大好きなカラオケ、テーマパークにも行けず、甘えん坊になり、ちょっとしたことですぐ機嫌が悪くなるようになりました。家では普段は自分でできることも手伝って欲しそうなどときには大目に見て一緒にやっています。もとに戻った時のことを考えると甘やかすのもどうかとも考えましたがとりあえずこの時期を乗り越えるのが肝心だとケースバイケースで対応しています。(M・Y)

行動別に○△×にしてみました(^_^; (20代男性)

- ・マスクが必要、毎日熱を測る→○
- ・37.5C以上あるとお仕事に行けない→△(幸いそういった事がないので大丈夫ですが、熱を測る時に少し不安そう)
- ・遠出が出来ない→△(なぜ出来ないのか解らない)
- ・プールに入れない→△
- ・イベントなどの中止→△(意外と大丈夫でしたがそれがいつまで続くのかの目処が立たないので二次障がいの的にイライラ、ソワソワしている事が多いです。)
- ・外食の自粛→△(店内で食べられない頃は持ち帰りのみの対応が理解出来ない様子でイライラしていました。)
- ・変化→X(いつもよりも無理な要求やワガママに近い事を繰り返し、繰り返し言う事が増えました。)
- ・短期入所などの中止→X(ルーティンが変わり辛そうでした。)
- ・公園が閉鎖→X(散歩が思う様に出来ずこれが一番辛そうでした。)
- ・作業所の利用日縮小など→X(普段作業所にいる時間に家にいるのが納得いかない感じでした。)
- ・量販店や電気屋さんホームセンターなどが早めに閉まる時期→X(理由が解らなくて納得出来ない様でした。)

(K・E)

県のホームページより (令和2年5月26日記者発表資料)

(1) 介護者がコロナ入院で不在となった在宅の高齢者・障がい者への対応



新型コロナウイルス感染症について、県では地域との連携・協力のもと、感染拡大に対応し医療崩壊を防ぐための現場起点の医療体制「神奈川モデル・ハイブリッド版」の整備を進めています。

こうした中で、家族が新型コロナウイルス感染症で入院し、介護者が不在となり、在宅で高齢者や障がい者の方が取り残された場合に備え、このたび本人が陰性の場合に受け入れる「短期入所協力施設」や、陽性・軽症でも福祉的ケアの割合が高く医療機関への入院が難しい場合に受け入れる、「ケア付き宿泊療養施設」を新たに設置します。(抜粋)

～編集後記～ 今年度最初のつばさは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、いつもより発行の時期が遅れましたこととお詫び申し上げます。例年の行事がことごとく中止となり会員の皆さまも残念に思っていることでしょうか。会報誌をお届けすることで少しでも繋がりを感じていただけたら幸いです。このような中、役員会は6月から再開、特に7月14日(火)には生命信託のミニ説明会も開催しました(写真下)。この説明会には続きがあるのでその折にはご案内いたします。また、厚木市では、第6期(令和3年度～5年度)の障がい者福祉計画の策定が進んでいます。8月には意見交換会があり、



11月にはパブリックコメントが予定されています。このコロナ禍で直面した様々な課題から、どのようなサービスがより必要とされるか、それぞれの立場で声を挙げられるといいですね。育成会としても皆さまの生の声をお聞きできればと思っています。(N. T)

発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3丁目1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価100円(会費に含まれています)